



2025年8月7日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 一樹
(コード：5074 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 平倉 正章
(TEL：06-6308-2794)

(開示事項の変更) 「営業外費用(デリバティブ評価損)及び法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」の内容の一部変更に関するお知らせ

2024年11月5日に公表いたしました「営業外費用(デリバティブ評価損)及び法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」の内容の一部に変更が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由及び内容

当社は、2025年6月期第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社伊万里グリーンパワーが佐賀県伊万里市において開発した発電容量46.0MWの大型バイオマス発電事業で使用するPKS燃料調達に係る為替変動リスクをヘッジする目的のために締結している為替予約の時価評価により、デリバティブ評価損1,816百万円(2025年6月期第1四半期連結会計期間のデリバティブ評価損126百万円、2025年6月期第2四半期連結会計期間のデリバティブ評価損1,689百万円)を営業外費用に計上いたしました。これに加え、2025年6月期連結累計期間において当該為替予約の一部を実行したことに伴い、ヘッジ会計適用前に発生したデリバティブ債権を営業外費用(デリバティブ評価損)に12百万円計上いたしました。そのため、2025年6月期連結累計期間におけるデリバティブ評価損の計上額は1,828百万円となりました。

また、2025年6月期連結累計期間における法人税等調整額(益)としては、622百万円(概算)を計上する予定としておりましたが、当該大型バイオマス発電事業が開始したことにより、株式会社伊万里グリーンパワーの法定実効税率の変更を行いました。当該法定実効税率の変更により、ヘッジ会計適用前に発生したデリバティブ債権に係る繰延税金負債を見直したことに伴い、当該法人税等調整額(益)の計上額は831百万円に変更となりました。

2. 今後の見通し

本件の業績に与える影響につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正並びに営業外費用(持分法による投資損失)の計上に関するお知らせ」に記載の連結業績予想において織り込み済みであります。

今後において、連結決算への影響が重要なものとなる場合には適時開示する予定です。

以 上